

大(注1)觀くわん末、魯(注2)公つと責メテ宮きゆう祠し歸ル浙(注4)右いう。

吾侍公舟行、一日過新開湖、

睹漁艇往還上下。

魯公命吾呼得一艇來、

戲レニ售かフコト魚ヲ可ばかりナリ二十(注7)鬻れふ。

小大又タ弗ず齊ひとシカラ。

問ヘバ其ノ真あたひヲ曰ハク、「三十錢也。」

吾使左右如数以钱畀之焉。

去リ来タリテ未ダ幾いくばクナラ忽こつトシテ遥はるカニ見ル漿しやう(注8)艇てい甚ダ急ニ

飛ビテ趁おフラニ大舟ヲ一矣。

吾与公咸愕然謂、

「此必得大魚乎。」

将喜而復来邪。」

頃しほラクシテ已ニ及ベバ、則チ曰ハク、

「始貨爾魚約三十錢也。」

今乃多其一。用是來歸爾。」

魯公笑而却之。

再三不^{ナルモ}可^{キカ}。竟還^{ツヒニ}一錢^シ而後去^ル。

魯公喜^ブ。吾時^ニ十四^{ナリ}矣。

白魯公、「此豈非^ニ隱者^一邪。」

㊦ 27 約

⑤ ④ ③ ② ①
簡 誓 儉 節 要
約 約 約 約 約

㊦ 28 道

⑤ ④ ③ ② ①
道 道 道 報 人
具 程 理 道 道

- ① 私は行き交う漁師たちに適正な値段をつけさせ、お金を渡した。
- ② 私は傍らの漁師に魚の大小に応じて値段をつけさせ、お金を渡した。
- ③ 私は傍らの漁師に魚の数に見合っただけの値段をつけさせ、お金を渡した。
- ④ 私は傍らの従者に命じ、求められた金額どおりお金を渡させた。
- ⑤ 私は傍らの従者に命じ、魚の数と大小とを考えあわせてお金を渡させた。

- ① 始め爾なんぢに魚を貨うるも三十銭に約せんや。
- ② 始め爾の魚を貨るに三十銭を約せんや。
- ③ 始め爾に魚を貨るに三十銭を約するなり。
- ④ 始め爾に魚を貨らしむるに三十銭を約するか。
- ⑤ 始め爾の魚を貨らしむるも三十銭に約するなり。